

## パースで背景画像を設定する方法

文書管理番号：1087-01

### Q. 質問

建築予定地の写真を、パースの背景として利用したい。  
背景画像の位置を調整し、建物が浮いて見えないようにしたい。

### A. 回答

建築予定地をデジカメなどで撮影し、JPG または BMP 形式の画像データにすることで、3D パースの背景として利用できます。

パースや背景画像の位置を調整し、建築予定地にパースを合成します。

ここでは、例として下のような画像データを背景に利用する方法を説明します。

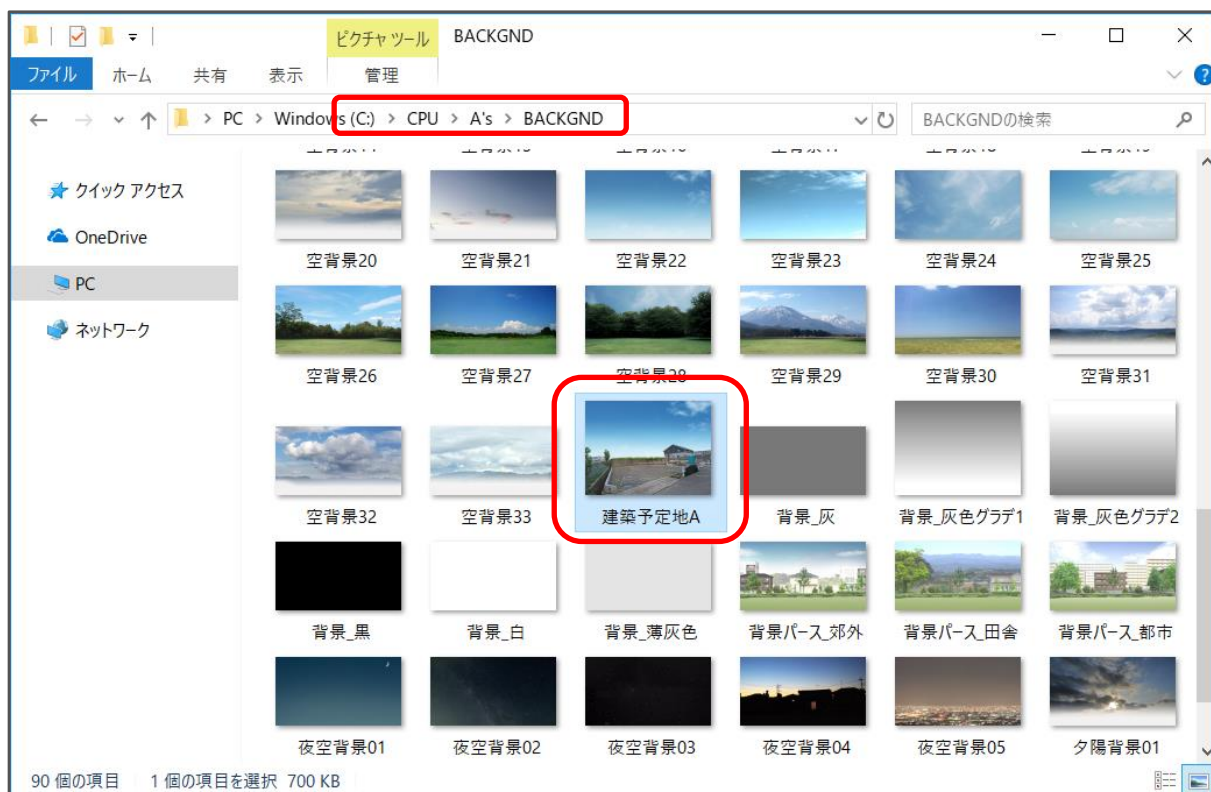


## 操作手順① 建築予定地の写真データを背景に設定する

建築予定地を撮影した写真データを、3D パースの背景として設定します。

- ① あらかじめ準備した JPG または BMP 形式の画像データを、A's インストール先にある「CPU」フォルダ→「A's」フォルダ→「BACKGND」フォルダに保存

\* ここでは「建築予定地 A」のファイル名で、JPG 形式のファイルを保存します。



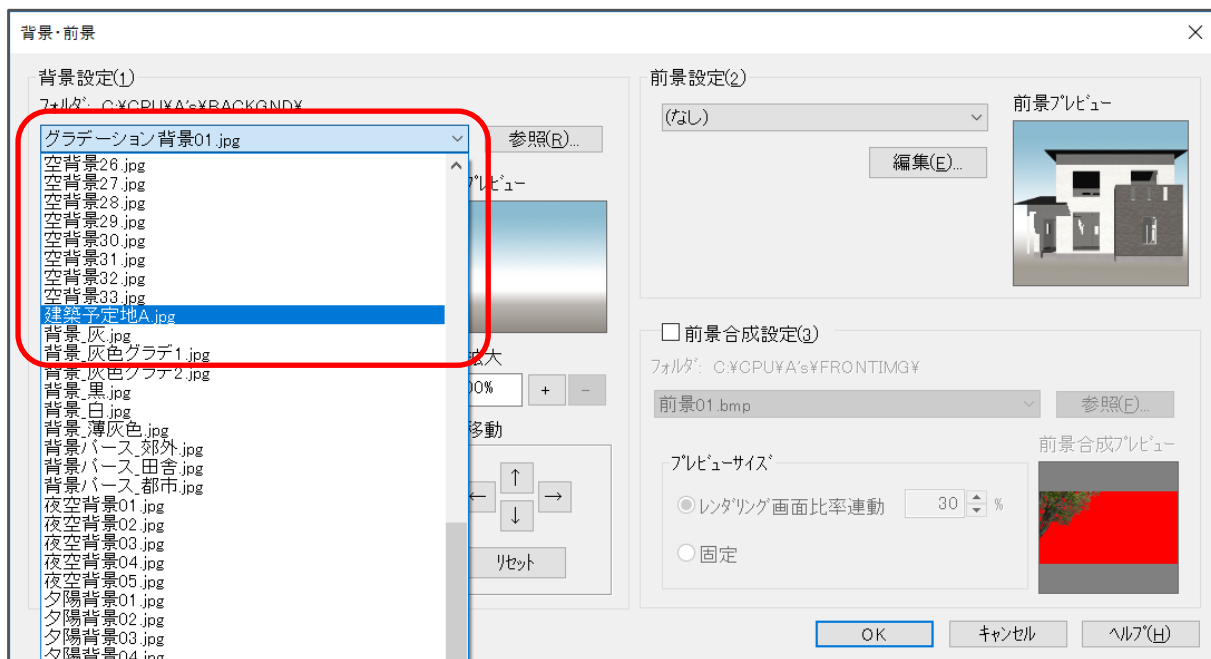
- ②  (3D パース)で、 (背景・前景)をクリック

\* 背景・前景の設定画面が表示されます。

\* 「設定」⇒「背景・前景」をクリックしてもかまいません。

## ③ 「背景設定(1)」のプルダウンから「建築予定地 A.jpg」を選択

\* 「参照」から、保存した「建築予定地 A.jpg」を選択してもかまいません。



## ④ 「背景色」にチェックが入っていないことを確認し、「OK」をクリック



## 【参考】


「背景色」にチェックを付けると、背景色をグラデーションで設定したり、画像と背景色を組み合わせたりすることができます。

背景色右枠内の階調境界線をドラッグで移動させることで、自由に階調領域を変更できます。

ここでは、建築予定地の写真を表示させたいので、背景色を表示しないようにしています。

\* 3Dパースの背景として表示されます。



\* 敷地が表示される場合は、 (作成条件)の「敷地」タブから、「敷地変換」「敷地自動」「外構変換」のチェックを外し、あらためて3次元データ作成を行ってください。

作成条件 ×

軸組 屋根 破風 内部 外部 床下換気口 **敷地** 電灯 部材色 最適化 編集情報

敷地変換

敷地自動


幅  mm

奥行  mm

外構変換


他物件建物変換 設定(O)...

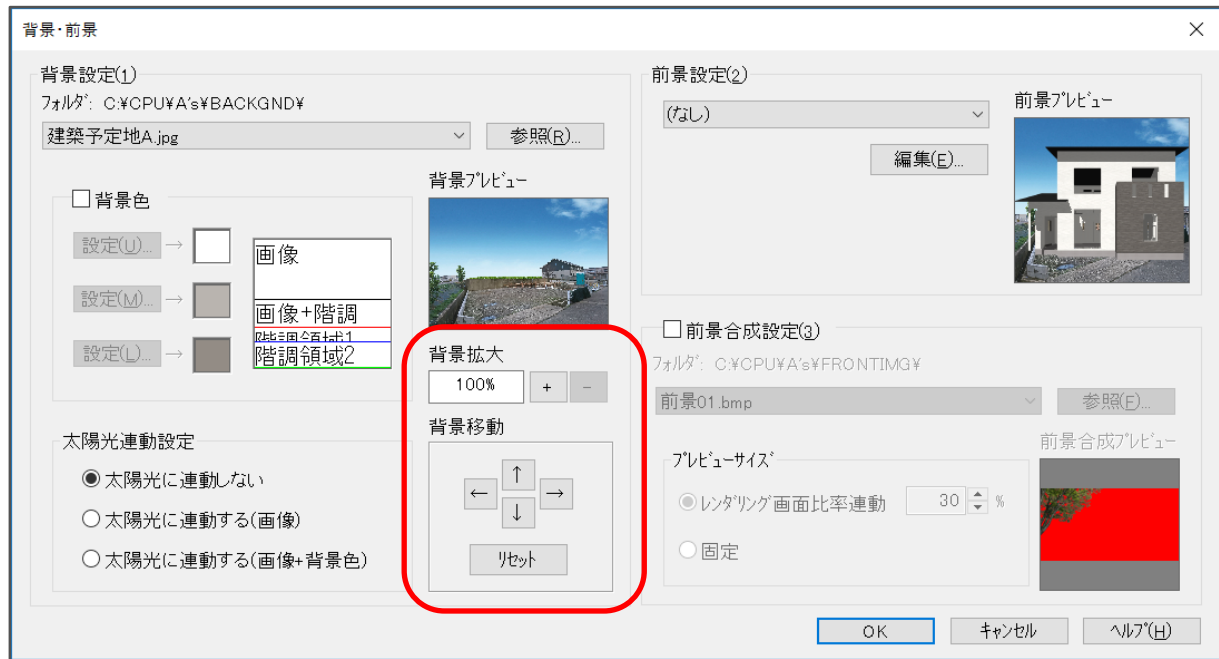
起動時にこのダイアログを表示する

 3次元データ作成

## 操作手順② パース位置を背景に合わせて調整する

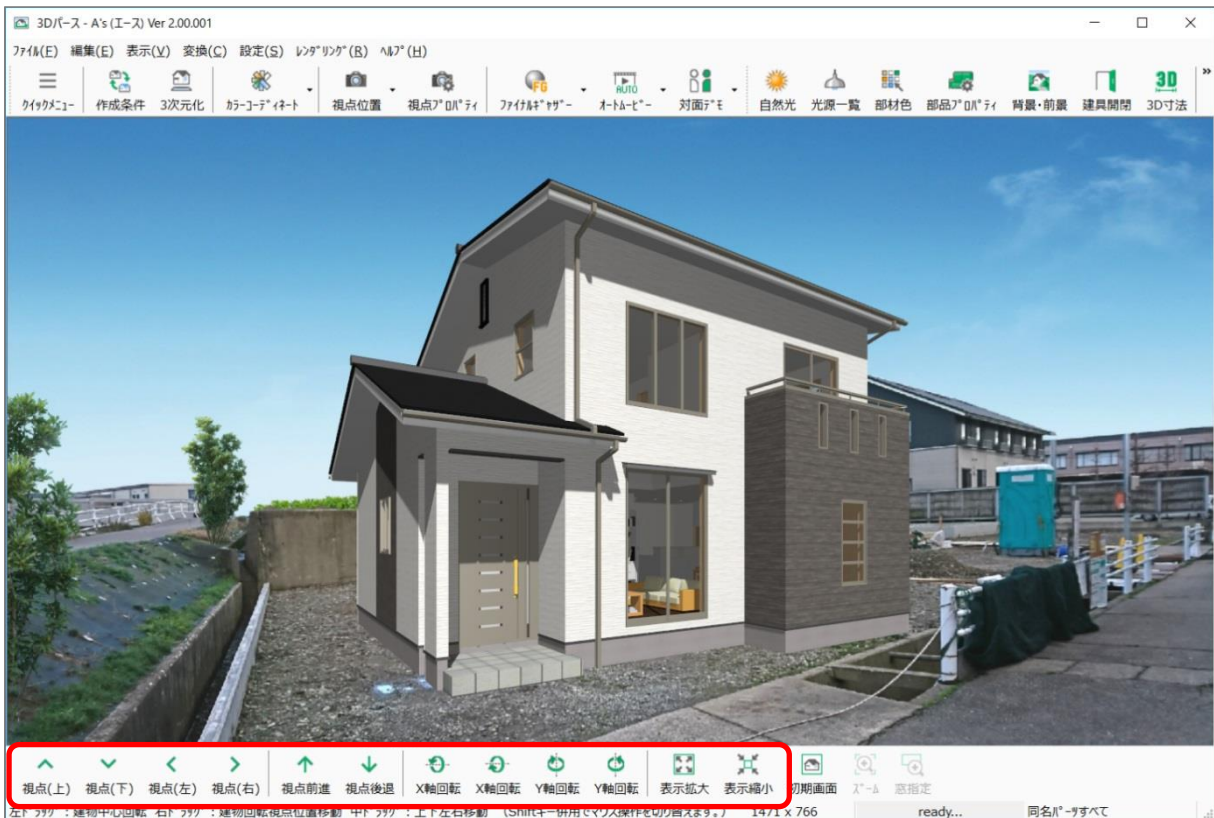
建物が浮いたように見えるなど、おかしい表現にならないように、建物の位置と背景の位置を調整します。

- ①  (背景・前景)から、背景画像の位置やサイズを調整



- 背景拡大：100～800%までの間で10%ずつ拡大することができます。  
100%以下に縮小することはできません。  
直接数字を入力し、「OK」を押すことで、任意の倍率にすることもできます。
- 背景移動：上下左右の矢印を押すことで、背景画像の位置を移動できます。  
画面のピクセル数（大きさ）より、元の画像データのピクセル数のほうが大きい場合は、移動ができます。  
画面の大きさと、元の画像データの「タテ×ヨコ」比率が同じ場合は、移動できません。

- ② マウスによる視点設定、または画面下にあるステータスバーのアイコンから、建物の向きや大きさを調整



- ③ レンダリングを実行し、背景とパースの位置を確認



**【参考】**

マウス操作による視点設定については、A's (エース) のヘルプをご覧ください。